

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月26日

【評価実施概要】

事業所番号	3071400240
法人名	医療法人 恵友会
事業所名	グループホームガーデンライフ
所在地	和歌山県海南市船尾265-8 (電 話) 073-483-3113

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平二丁目1-2		
訪問調査日	平成22年2月10日	評価確定日	平成22年2月26日

【情報提供票より】(22年1月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 6人, 非常勤 5人, 常勤換算 8.4人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3 階建て 2 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (200,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食 円 昼食 円	夕食 円 おやつ 円	
	または1日当たり 3食1,000円及び、おやつ200円		

(4) 利用者の概要(1月5日現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	0 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.2 歳	最低 73 歳	最高 90 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	恵友病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くに温山荘公園、水族館、市場、幼稚園、小学校など恵まれた環境にある。母体が医療法人であり密に連携が図られる中で、利用者・家族は健康、病状の管理等安心できる体制となっている。「ゆっくり のんびり ○(まあある) ゆこう」という理念を掲げ一人ひとりの個性を尊重した支援を徹底されており、利用者の穏やかな表情にその成果が見て取れる。屋上の菜園はガーデンサポーターの支援を受けて管理されており、収穫した新鮮な野菜は卓上に並ぶと共に貴重な癒しの空間となっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目: 外部4)
	前回評価において改善課題となっていた職員の異動等による影響への配慮については、法人の理解も得られる中で異動もなく離職についても回避できている。又、災害対策については、未だ地域の人々の協力が得られるような働きかけには至っておらず、引き続き改善課題とした。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 外部4)
	管理者、職員共に自己評価及び外部評価の意義を充分に理解しており、サービスの質を高める機会として捉えている。今回の自己評価についてはミーティング等で話し合っ管理者がまとめあげた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は地域代表や地域包括支援センター職員等の参加を得て2ヶ月に1回開催しており、ホームでの暮らしぶりや行事、家族からの意見や苦情、事故等について報告している。自己評価、外部評価の取り組みについても説明し、メンバーからの意見を求めサービスの向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 外部7, 8)
	家族等には来訪時や電話で積極的に意見を出して貰える様働きかけしており、出された意見、苦情等については上司に報告し職員間で協議すると共に運営推進会議でも報告し検討して貰っている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目: 外部3)
	婦人会や地域のボランティアの協力を得て手芸や書道等の作品を公民館主催の文化祭に出展し参加している。又、ガーデンサポーターに年間を通して支援を受け屋上で花や野菜を育てている。地域の小、中、高校生の体験学習も受け入れており、近隣の幼稚園児は年2回訪問してくれており、普段から遊具の上で手を振ってくれて楽しい交流が図れている。

2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしい生活を支えていきたいと「ゆっくり のんびり ○(まあるく)行こう」という独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ全員で考えてつくった理念は、よく見えるところに掲げ、全員で共有する中で一人ひとりの生活ペース、個性を大切に、ゆっくりのんびり穏やかな支援がなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	婦人会や地域のボランティアの協力を得て手芸や書道等の作品を公民館主催の文化祭に出展し参加している。又、ガーデンサポーターに年間を通して支援を受け屋上で花や野菜を育てている。地域の小・中・高校生の体験学習も受け入れており、近隣の幼稚園児は年2回訪問してくれており、普段から遊具の上で手を振ってくれて楽しい交流が図れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員共に自己評価及び外部評価の意義を充分に理解しており、サービスの質を高める機会と捉えている。今回の自己評価についてはミーティング等で話し合って管理者がまとめあげた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域代表や地域包括支援センター職員等の参加を得て2ヶ月に1回開催しており、ホームでの暮らしぶりや行事、家族からの意見や苦情、事故等について報告している。自己評価、外部評価の取り組みについても説明し、メンバーからの意見を求めサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービス事業者で構成する地域ケア会議の事務局を行政が担っており常に連携が図られる中で、利用者の制度的な指導を仰いだり一寸した事故や苦情等を報告する機会もあり、行政と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	出来るだけ家族に来て貰える様に毎月の支払いは取立てホームへの現金払いとしており、来られた時に暮らしぶり等を詳しく報告している。又、健康状態等については随時電話で連絡を取っており、出向いて貰う事もある。金銭管理は家族にお願いしており行っていない。職員については笑顔の写真入りで紹介コーナーを設けており、親しみやすい様に工夫している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等には来訪時や電話で積極的に意見を出して貰える様働きかけており、出された意見、苦情等については上司に報告し職員間でも協議すると共に運営推進会議でも報告し検討して貰っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人の理解も得られる中で今年度の異動は避けられており、離職についてもその回避に努めている。又、新規職員採用についても数日雰囲気を見に来て貰って希望を確認する等慎重に行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への積極的な参加を奨励しており、希望すれば無理なく参加できる。又、働きながらの学びを重視しており、日常業務の中のリスクについて対応方法等シュミレーションする中で全員で研修を重ねている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービスケアネット和歌山に加入し交流の機会を持っている。又、周辺の同業者とは地域ケア会議のメンバー達と「キャラバンメイト養成講座」などの活動を共にする中で交流を図りサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始にあたっては、ホームを見学して雰囲気を見て貰う様にしている。本人や家族の不安を出来るだけ少なくできる様に訪問して面談し、話し合いを重ねている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごす中で「感謝のこころ」を教わっている。重度化の為得意とされていた事が困難となっているが、真剣に向き合う関わりの中で喜怒哀楽を共にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の表情や言動等を十分に観察する中で、一人ひとりの思いや意向の把握に努め、その人らしく暮らし続けられる様支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	より良く暮らして頂く為に利用者の担当職員を決めており、センター方式を活用し十分に把握に努める中で、家族や医師等関係者の意見やアドバイスを取り入れた介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については、ミーティングの中で話し合いを重ねながら見直しを行い、常に現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制をいかして、利用者や家族にとって負担となる受診や重度化した場合の不安等を軽減している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が医療法人であることから、ほぼ全員の利用者が家族の希望により法人の医師を主治医としており、往診を受け必要に応じて適切な医療を受けることができている。眼科等の専門科については家族の協力を得て受診している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の重要事項の説明の中で「看取り等に関する指針」を提示して重度化した場合や終末期の対応について家族に話している。現在すでに家族、主治医、管理者で話し合いを重ねながら職員と共に看取りに向けた取り組みを進めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者を尊重しており、言葉掛けや対応なども穏やかでプライバシーを損ねる言動は見られない。本人の居室に入る時も、その度に本人の了解を得ている。又、個人情報の取り扱いについても記録類は施錠できる書庫に保管しその取り扱いには充分注意を払っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの様子を見ながら本人本位のケアを心掛け希望に添って支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	美味しそうな匂いが漂う中、職員と共に食事の盛り付けや配膳などの準備をし、後片付けも出来る利用者が自然体で行っており、食事の時間を全員で楽しめるように支援されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は可能な限り利用者それぞれのその日の希望に添って行っており、職員との会話を楽しむ等入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物を干したり、取り入れて畳むなど、できる限り力を発揮して貰っている。又、ボランティアの協力を得て、押し花の作品作りや様々な手芸に取り組んでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節ごとに遠足や日帰り旅行を行っているが、重度化に伴い日常的には外出の機会が少なくなっている。	○	短時間でも戸外に出ることは、本人の気分転換や意欲の向上につながり、地域の人々と挨拶を交わし顔馴染みになる中で地域の理解と協力が得られるいしずえとなるため、重度化する中ではあるが困難を乗り越え取り組まれる事が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員共に鍵をかけることの弊害は十分に理解しているが、居住スペースが二階にあり一階の玄関には全く目が届かない為、侵入者、感染防止対策のことも考慮する中で家族の了解を得て施錠している。居住スペースから他の部署への通路には施錠しておらず、自由に出入りでき、居室にも施錠していない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと、母体法人が行う避難訓練に参加し、併設部署との連携もとれている。又、災害時は地域の避難施設に指定されている。火災に備えてスプリンクラーが設置されているが、緊急時に地域住民の協力が得られる体制とはなっていない。	○	身近な周辺地域の協力が得られる様、地域住民との関係づくりに努めると共に運営推進会議等を活用し積極的な取り組みが望まれる。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスやカロリーも把握した上でメニューを作成しており、食事摂取量、水分量も記録している。野菜を多く用い昼食には肉、夕食には魚料理をと細かな配慮もなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	集いの場となっている居間兼食堂は家庭的な落ち着いた雰囲気です窓からの陽光も程よい明るさである。隣の幼稚園の庭や町の向こうの山など季節感も味わい眺めることができる。利用者の押し花の作品や笑顔一杯の写真など飾られておりソファや椅子、車椅子等それぞれが思い思いにのんびりと過ごすことができる環境となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの表札には季節感溢れる可愛いフェルト手芸が添えられており、その月ごとに一緒に作り取り替えている。居室内には思い思いの家具や家族との写真、人形、鉢花等を配置し、居心地良く過ごせるよう工夫している。		